

アート&ヘルス基金 助成制度

「東日本大震災被災地における
アートを通じたコミュニティの復興を応援」

募集要項

公益財団法人パブリックリソース財団

アート&ヘルス基金 助成制度 「東日本大震災被災地におけるアートを通じたコミュニティの復興を応援」 募集要項

2015年7月15日

1. 目的と概要	<p>東日本大震災の被災地では、これまで仮施設での運営を余儀なくされていた福祉施設や学校等が、本格施設を再建する動きが始まっています。これらの施設は、今後は地域コミュニティの核となることが期待されています。</p> <p>本プログラムでは、本格再建する福祉施設等にアートやアートアクティビティを導入して地域に開かれたケアの場をつくることを支援します。またアートやデザインの力を活用することで、障がい者や高齢者、女性など経済復興から取り残されがちな人のための新たな仕事づくりや賃金水準の向上に資する活動を支援します。地域の方々がふるさとに誇りを持ち、生きる自信や楽しさを感じられるような、アートを通じた地域再生を目指します。</p>
2. 助成対象となる団体または個人	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本助成プログラムに資する活動を行う非営利団体または個人 ■ 活動を長期的に継続する意欲のある団体。非営利であれば法人格の有無や種類は問いません ■ 個人の場合、アートプロデュースに関して何らかの実績があること
3. 助成対象となる活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ アートをつかった開かれた居場所づくり、コミュニティ施設づくりをめざすアートプログラム、アクティビティの実践 ■ アートやデザインの考え方を導入した医療・福祉施設等の建設・改修、内装、設備の更新やアート作品の提供 ■ アートやデザインを活用した、社会的に弱い立場にある人の雇用創出や福祉作業所等における工賃の増大に資する活動 ■ アートを通じたコミュニティの復興に関する計画策定や人材育成の活動（ケアの現場に足りないものを、アートを通してデザイン(=解決)していくスペシャリストの人材育成の視点を持つ）
4. 助成金	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1団体または1個人に369,000円を助成
5. 助成金使途	<ul style="list-style-type: none"> ■ アートプロデュース活動を行うための支出を支援します。使途として、プログラムを遂行するための事務局人件費、旅費・交通費、アート製作費、アート購入費などが含まれます。家賃や光熱費など、団体の運営にかかる費用などは該当しません。
6. 助成期間	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2015年10月1日～2016年9月30日までの最大12か月

7. 応募について

■応募期間： 2015年7月15日～8月7日
 ■応募用紙の入手方法： パブリックリソース財団ホームページより応募用紙をダウンロード
 ■アートの提供先： アート活動やアート作品の提供先となる施設を指定し、あらかじめ先方からの合意を受けてください。
 ■応募書類：
 <団体の場合>
 応募用紙(手書き不可)、前年度の事業・会計報告書、今年度の事業計画書・予算書、団体を紹介する資料(パンフレットなど)
 <個人の場合>
 応募用紙(手書き不可)、過去のアート関連活動の実績に係る資料
 *ご注意： ご提出いただいた書類はお返しいたしませんので、コピーを取って保管してください。

8. 応募書類の提出先

下記まで、2015年8月7日(金)17:00必着で、Eメール送信またはご郵送ください。

■〒104-0043 東京都中央区湊2-16-25-202
 パブリックリソース財団内 アート&ヘルス基金 係
 電話 03-5540-6256 ファクス 03-5540-1030 Eメール support@public.or.jp

■選考のプロセス
 ・選考委員会を設置し、選考委員による書類選考により、採択者を決定します。
 ・選考委員会に先立ち、必要に応じて事務局から電話、メール等によるヒアリングをさせていただくことがあります。
 ・選考の結果は、書面(メール)でお知らせします。

9. 選考の基準

(1) (団体の場合)応募する団体が2. の助成対象団体の要件を満たしているか
 (個人の場合)応募する個人が、アート・プロデュースに関してなんらかの実績があるか
 (2) 応募するプロジェクトが「生きることを支えるアート」のコンセプトに該当しているか
 (3) 応募するプロジェクトが以下の要件を満たしているか
 ■対象となる場をメインで利用する人の年齢や心身状態、環境整備に沿っている
 ■対象となる場に関わる人々(メインで利用する人、ケア・サポートする人)の生活の質を高めることに寄与する
 ■以下の5つのポイントのいくつかを満たすこと
 ●場に関わる人々に気づきをもたらすこと (take notice)
 ●場に関わる人々が誰かとつながること (connect)
 ●場に関わる人々が積極的に活動すること (be active)
 ●場に関わる人々が誰かに与えること (give)
 ●場に関わる人々が学び続けること (keep learning)

10. スケジュール

※ 変更する場合があります。

2015年	7月15日～8月7日	公募
	8月下旬	審査会開催、助成先採択
	9月	審査発表および助成金振り込み
	10月	助成開始
2016年	9月	助成対象事業「終了報告書」提出

11. 個人情報を含む受領した情報の取り扱いについて

当プログラムへの応募を通じて皆様からお預かりする個人情報は、適切に管理し、ご本人の承諾のない限り、当プログラムに関連する目的以外に使用することはありません。パブリックリソース財団における個人情報の取り扱いについての詳細は、以下のサイトをご参照いただき、ご同意のうえお申し込みください。申請用紙の提出をもって、ご同意いただいたものとさせていただきます。
 ■パブリックリソース財団の個人情報取り扱いについて：
<http://www.public.or.jp/PRF/privacy/index.html>